

「復興まちづくりの総仕上げ」に向けて

平成30年度主要事業と予算概要

平成30年度は、「いつまでも住みたい」「住んでみたい」「訪れてみたい」と思っていただけけるまちとなるよう、「人口減少対策」と「まちの活力再生」に向けた施策を重点化します。

また、本年度は「長期総合計画」と「震災復興計画」の最終3カ年のスタートとなる重要な年と位置づけ、「おいしさと笑顔がつどうみ」とまち塩竈」の実現と「復興まちづくりの総仕上げ」に向け目標達成に取り組みます。

本年度の主要事業と予算概要についてお知らせします。

主要事業



薬しお姫

問 事業に関すること 政策課企画係 ☎ 3555-1563
1
予算に関すること 財政課財政係 ☎ 3555-1581
4

まちづくりの基本計画である「第5次塩竈市長期総合計画」では、新魚市場展示スペースの活用や観光振興ビジョンの推進など、まちの活力再生に取り組みます。

また、復興の道筋を示す「塩竈市震災復興計画」では、「住まいと暮らしの再建」と「産業・経済の復興」を確実に進めようとしています。



▶ 多くの方が利用するNEWしおナビ100円バス



かきたん

「塩竈市震災復興計画」を推進するための取り組み

～長い間住み慣れた土地で、安心した生活をいつまでも送れるように～

★印は新規事業
(単位：万円)

1 住まいと暮らしの再建

一日も早く震災前の生活を取り戻し、安心して生活できるよう、被災された方々の住宅と生活の再建を支援

被災者支援総合事業	3,172
津波被災住宅再建支援事業	3,700
被災者見守り・相談支援事業	1,708
脳と身体の健康づくり事業	284
NEWしおナビ100円バス運行調査事業	1,523

2 安全な地域づくり

今後の災害にも対応しうる防災対策を講じ、安全・安心な市街地の整備を図る

北浜地区被災市街地復興土地区画整理事業	22,110
藤倉二丁目地区被災市街地復興土地区画整理事業	4,110
新浜町杉の下線道路事業 (区画整理関連)	11,800
★新浜地区漁業集落防災機能強化事業	14,250
★本町地区避難道路整備事業	5,100

3 産業・経済の復興

産業基盤を回復させ、被災された事業者の経営再建を促進し、地域経済の活性化を図る

★地域防災・減災 (BCP) 計画策定事業	376
海岸通地区震災復興市街地再開発事業	50,905

▶ 各地区の「脳と身体の健康づくり」参加者が一堂に会して脳トレを行いました

4 放射能問題に対する取り組み

市民の皆さんの不安の解消と安全・安心な食の確保、風評被害の払拭

給食食材放射能測定事業 (保育所・学校食材)	84
水産物の放射性物質検査等委託事業	630
放射能測定事業 (空間線量)	135

5 浦戸地区の復興

被災された方々の生活再建と防災対策の推進、浅海養殖漁業をはじめとした産業基盤の再生

桂島地区漁業集落防災機能強化事業	33,850
野々島地区漁業集落防災機能強化事業	38,770
寒風沢地区漁業集落防災機能強化事業	18,560
朴島地区小規模住宅改良事業	1,800





▲中学生が部活動ごとに、アフタースクール事業のわくわく遊び隊に参加しました



▲観光振興ビジョンシンポジウムでは、「しおがまさまと門前町」という題でパネルディスカッションが行われました



▲塩竈市魚市場展示室が3月24日にオープン



▲歴史的に貴重な建造物と判明した勝画楼



「第5次塩竈市長期総合計画」の実現に向けた取り組み ～おいしさと笑顔がつどうみなとまち塩竈～

★印は新規事業
(単位：万円)

1 だれもが安心して暮らせるまちづくり

幼稚園から幼保連携型認定こども園への移行にかかる費用の一部を助成

★認定こども園整備助成事業 9,728

対象を18歳まで拡大した子ども医療費助成について継続実施
子ども医療費助成事業 10,120

地域資源を活用した事業等を実施し、子どもが自主的に活動できる放課後の居場所づくり

塩竈アフタースクール事業 2,331

今後の市立病院の診療体制を踏まえた施設更新について調査・検討

★市立病院建設基礎調査事業 2,000

塩釜歯科医師会が整備する塩釜地区歯科口腔保健センターについて整備費の一部を助成

★歯科口腔保健センター整備費助成事業 613

浦戸地区への介護事業者の参入を促進するため、見学会の実施やサービス提供事業者への助成

★浦戸地区介護保険サービス確保対策事業 95

不特定多数の方が利用する民間大規模建築物の耐震性の向上に要する経費に対し助成

民間大規模建築物耐震化促進事業 1,260

防犯灯のLED化を5年間で集中的に推進するため、町内会に設置費用の一部を助成

LED防犯灯設置助成事業 1,200

市内に住宅を取得した子育て世帯や三世代同居世帯などに対し助成（市外からの転入者が対象）

★子育て・三世代同居近居住宅取得支援事業 1,500

2 海・港と歴史を活かすまちづくり

新魚市場の展示スペースにおいて常設展示や季節ごとの企画展示を実施

★魚市場イベントスペース企画展示事業 58

小規模事業者が行う販路開拓、業務効率化のための事業に対して助成

★小規模事業者サポート事業 600

観光振興ビジョンに基づき、旅行商品の創出や新たな特産品の開発、観光担い手の人材育成

★観光振興ビジョン推進事業 93

街路灯をLEDに更新することにより、維持管理経費の削減および省エネルギー化を図る

★LED街路灯導入事業 1,187

3 夢と誇りを創るまちづくり

小中学校間での「学びの連続性」を確保するため、塩竈独自の小中一貫教育を実施

小中一貫教育推進事業 2,327

地域で中学校部活動を支える指導体制を構築

★学校現場業務改善加速事業 73

勝画楼の歴史的価値の詳細調査を継続するとともに、応急的な補修を実施

★勝画楼保存・活用推進事業 2,994

塩竈の保護政策を行った伊達綱村公を顕彰する記念事業を実施

★肯山公遠忌300年記念事業 300

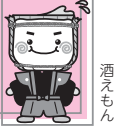
東北総合体育大会（バドミントン競技）の実行委員会へ助成

★東北総合体育大会事業 50

平成30年度一般会計予算 250億6,000万円

(うち、震災復旧関連予算53億5,273万円)

予算概要



酒えもん

平成30年度は、「長期総合計画」と「震災復興計画」の最終3カ年のスタートとなる重要な年として、復興まちづくりの総仕上げと定住・交流の促進に重点的に配分しました。

一般会計

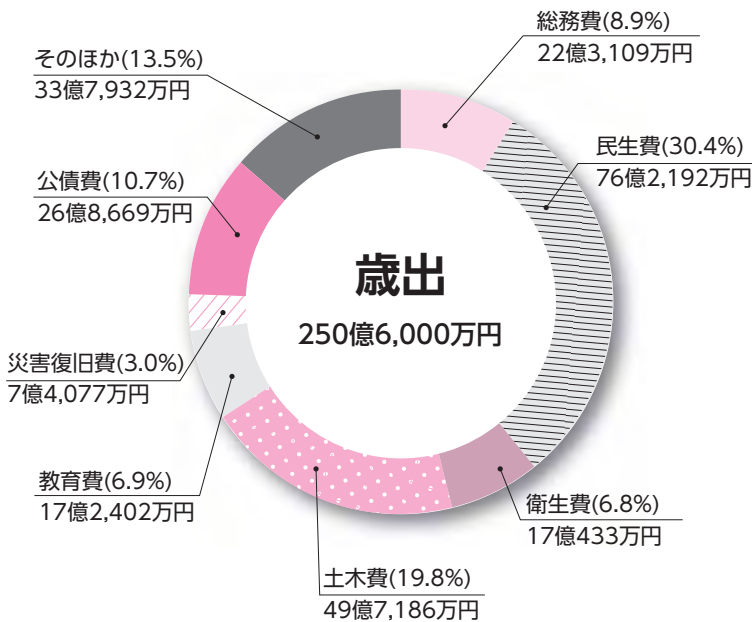
平成30年度の一般会計予算は、震災後の当初予算としては最小規模の予算となりました。

浦戸地区の災害復旧事業費の進度調整による減や、復興事業に係る特別会計への繰出し金の減により、前年度比マイナス33億円(マイナス11.6%)となる250億6000万円となり、大幅な減額になりました。

「長期総合計画」に基づく取り組みとして、幼保連携型認定こども園の整備助成や、市内に住宅を取得した子育て世帯の支援などにより、子育て支援と定住の促進を図ります。

「復興推進計画」については、新浜地区の道路・側溝の復旧や、指定避難所への避難道路整備、災害公営住宅入居者の継続支援などに取り組みます。

歳出の内訳 (構成比：%)



歳出の主な内容

総務費：22億3,109万円

浦戸地区における地域おこし協力隊活用事業や、集会所の建設修繕などを助成する集会所整備等助成事業などを計上

民生費：76億2,192万円

高校3年生までの子ども医療費助成事業や、幼保連携型認定こども園への移行を助成する認定こども園整備助成事業などを計上

衛生費：17億433万円

健やかな妊娠・出産を支えるための妊婦健診事業や、不妊治療の医療費を一部助成する特定不妊治療費助成事業、歯科口腔保健センター整備費助成事業などを計上

土木費：49億7,186万円

市内に住宅を取得した子育て世帯などを支援する子育て・三世帯同居近居住宅取得支援事業や、避難道路を整備する本町地区避難道路整備事業、街路灯の維持管理経費の削減を図るLED街路灯導入事業などを計上

教育費：17億2,402万円

小中学校間での「学びの連続性」を確保するための小中一貫教育推進事業や、不登校傾向の児童生徒の支援を行う塩電市子どもの心のケアハウス運営事業、勝画楼の調査補修を進める勝画楼保存・活用推進事業などを計上

災害復旧費：7億4,077万円

地震・津波で被災した漁港の災害復旧費を計上

災害復旧費

道路、漁港の復旧事業など



13,526円

公債費

借りたお金や利子の返済など



49,059円

教育費

学校教育や教育施設の整備など



31,481円

その他

防災、商業振興など



61,706円

予算総額501億1,702万円 (前年度比▲9.3%)

全会計予算総額(一般会計・特別会計・企業会計)

会計区分	予算額	前年度比
一般会計	250億6,000万円	△11.6%
特別会計	192億5,110万円	△8.3%
交通事業	1億8,780万円	△45.2%
国民健康保険事業	60億4,960万円	△16.8%
魚市場事業	1億6,900万円	△6.8%
下水道事業	59億2,670万円	△5.6%
漁業集落排水事業	2億860万円	621.8%
公共用地先行取得事業	1億4,230万円	△0.2%
介護保険事業	54億7,070万円	2.7%
後期高齢者医療事業	7億1,620万円	△3.1%
北浜地区復興土地区画整理事業	2億2,110万円	△52.3%
藤倉地区復興土地区画整理事業	1億5,910万円	△25.6%
企業会計	58億592万円	△1.6%
市立病院事業	32億6,229万円	7.8%
水道事業	25億4,362万円	11.4%
合計	501億1,702万円	△9.3%

※企業会計は、収益的支出と資本的支出の合計額を記載しています

特別会計

特別会計の主な予算では、

交通事業特別会計 新造船建設事業の終了に伴う減により、1億8,780万円を計上。

国民健康保険事業 都道府県単位化による予算規模の減や、被保険者数の減少により、60億4,960万円を計上。

魚市場事業 新魚市場整備事業の終了に伴う減により、1億6,900万円を計上。

下水道事業 越の浦地区下水道整備事業など復興交付金事業の減により、59億2,670万円を計上。

漁業集落排水事業

野々島・寒風沢漁集水施設の管路の災害復旧事業費の計上などにより、2億860万円を計上。

介護保険事業

介護給付費、地域支援事業費のサービス量の増加などにより、54億7,070万円を計上。

区画整理事業

道路や公園施設整備などにより北浜地区で2億2,110万円、藤倉地区で1億5,910万円を計上。

歳入の主な内容

市税：57億6,418万円

収納率の向上や、固定資産税の評価替えによる減収などを見込んで計上

繰入金：36億6,992万円

復興事業や関連事業の財源として各種基金からの繰入金を計上（下水道事業に係る復興事業への繰出金や津波被災住宅再建支援制度など）

地方交付税：64億8,326万円

国税を基に配分される普通交付税や、震災復旧・復興事業の地方負担分の財源として配分される震災復興特別交付税を計上

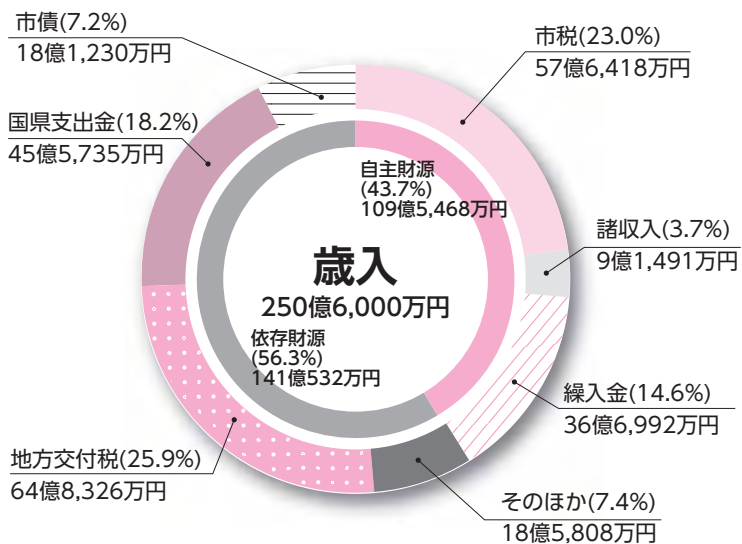
国県支出金：45億5,735万円

災害復旧事業に係る国庫補助金や、県の乳幼児医療費助成に伴う県補助金を計上

市債：18億1,230万円

普通交付税の振り替わりである臨時財政対策債や、市道・橋りょう整備を行うための地方債などを計上

歳入の内訳 (構成比：%)



市民1人あたりに使うお金は
457,592円

※一般会計歳出予算額を人口54,765人(平成30年2月末現在)で割り返した金額

総務費



政策、人事、行政の総合的運営など

40,739円

衛生費



ごみ処理や健診事業など

31,121円

民生費



高齢者福祉、子育て支援、生活保護など

139,175円

土木費



公営住宅や道路の整備など

90,785円